



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年11月5日

上場会社名 ビーピー・カストロール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5015 URL http://www.bpcastrol.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小石孝之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長 (氏名) 渡辺克己 (TEL) 03-5719-7875
 四半期報告書提出予定日 2021年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の業績 (2021年1月1日~2021年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	7,983	2.8	1,674	0.3	1,701	△0.3	1,153	4.4
2020年12月期第3四半期	7,767	△14.8	1,669	△5.4	1,705	△5.0	1,104	△7.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年12月期第3四半期	50.25		—					
2020年12月期第3四半期	48.12		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	13,221	10,540	79.7
2020年12月期	13,857	10,969	79.2

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 10,540百万円 2020年12月期 10,969百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	30.00	—	39.00	69.00
2021年12月期	—	30.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	37.00	67.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,169	3.1	2,221	△7.4	2,256	△7.8	1,530	△1.8	66.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年12月期3Q	22,975,189株	2020年12月期	22,975,189株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年12月期3Q	17,474株	2020年12月期	17,450株
-------------	---------	-----------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年12月期3Q	22,957,738株	2020年12月期3Q	22,957,739株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が長期化し、個人消費が低迷するなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。企業収益や輸出におきましても、厳しい状況のなか持ち直しの動きが続いているものの、内外の感染症の動向やサプライチェーンを通じた影響による下振れリスクの高まりなど、予測が困難となっております。

海外経済につきましても新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けておりますが、持ち直しの兆しが見られます。今後の一部地域を中心とした感染の再拡大や、金融資本市場の動向による景気の下振れ等のリスクがあり、先行きは不透明な状況が継続しております。

自動車業界におきましては、依然として小型・ハイブリッドの低燃費車並びに軽自動車から消費者からの根強い支持を集めておりますが、一方で新車販売台数は当第3四半期の前年同期比では85%に減少、当第3四半期累計期間の前年比では横ばいとなりました。また、原油価格は上昇傾向を続けており、厳しい経営環境となっております。

このような市場環境の下、自動車用潤滑油においては、ハイブリッド車や省燃費車向けの低粘度オイルの品揃えを充実させると共に、bpグループが掲げる温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする「ネットゼロ」を目指した「カーボンニュートラル(※)」コンセプトを訴求し、プレミアムブランド「カストロール エッジ」を中心とした販売活動を行ってまいりました。

また、潤滑油以外でも、エンジン内部を手軽に洗浄できる「エンジンシャンプー」や、新たなカテゴリーとして発売したカーケア製品「カストロールプロシリーズ」にも積極的な投資を行い、高付加価値商品の拡大と新しい需要を創出し、市場の再活性化および当社ビジネスの継続的な成長を目指してまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における当社の売上高は7,983百万円、営業利益は1,674百万円、経常利益は1,701百万円、四半期純利益は1,153百万円となりました。

(※) カーボンニュートラルとは、製品から排出されるCO₂のうち自らの活動だけでは削除できない分を、温室効果ガス排出削減プロジェクトへの投資活動を通じ相殺し、大気中に排出されるCO₂を実質ゼロにする取り組みです。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、12,123百万円(前事業年度末は12,854百万円)となり、731百万円減少いたしました。これは、主に受取手形及び売掛金(550百万円の減少)、及び短期貸付金(154百万円の減少)によるものです。(なお、貸付金の内容は、BPグループのインハウス・バンクを運営しているビーピー・インターナショナル・リミテッドに対するものであります。)

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,097百万円(前事業年度末は1,002百万円)となり、95百万円増加いたしました。これは、主に投資その他の資産(85百万円の増加)によるものです。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、2,665百万円(前事業年度末は2,859百万円)となり、193百万円減少いたしました。これは、主に未払金(319百万円の減少)、未払費用(350百万円の増加)及び未払法人税等(214百万円の減少)によるものです。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、14百万円(前事業年度末は28百万円)となり、13百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、10,540百万円(前事業年度末は10,969百万円)となり、428百万円減少いたしました。これは、主に利益剰余金が四半期純利益により1,153百万円増加し、剰余金の配当により1,584百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の業績予想につきましては、2021年7月30日公表の業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	171,283	285,177
受取手形及び売掛金	2,257,498	1,707,223
電子記録債権	19,642	—
商品及び製品	608,220	493,040
原材料及び貯蔵品	44,051	57,349
前払費用	16,595	24,569
短期貸付金	9,347,185	9,193,029
未収入金	388,148	349,772
その他	2,350	13,565
流動資産合計	12,854,975	12,123,727
固定資産		
有形固定資産	219,986	229,467
無形固定資産	4,303	4,275
投資その他の資産		
その他	790,091	874,728
貸倒引当金	△12,117	△10,845
投資その他の資産合計	777,974	863,883
固定資産合計	1,002,264	1,097,626
資産合計	13,857,239	13,221,353
負債の部		
流動負債		
買掛金	681,862	620,460
未払金	1,044,649	725,347
未払費用	576,379	926,903
未払法人税等	414,098	199,564
預り金	11,380	40,893
賞与引当金	88,012	140,598
その他	42,721	11,759
流動負債合計	2,859,105	2,665,529
固定負債		
その他	28,396	14,892
固定負債合計	28,396	14,892
負債合計	2,887,502	2,680,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,350	1,491,350
資本剰余金	1,749,600	1,749,600
利益剰余金	7,731,397	7,301,152
自己株式	△6,973	△7,005
株主資本合計	10,965,374	10,535,096
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,362	5,834
評価・換算差額等合計	4,362	5,834
純資産合計	10,969,737	10,540,931
負債純資産合計	13,857,239	13,221,353

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	7,767,085	7,983,183
売上原価	3,546,174	3,664,521
売上総利益	4,220,910	4,318,662
販売費及び一般管理費	2,551,856	2,644,224
営業利益	1,669,054	1,674,437
営業外収益		
受取利息	8,869	9,271
受取手数料	7,855	7,639
受取補償金	2,708	1,205
為替差益	850	—
雑収入	15,077	8,913
その他	1,024	1,088
営業外収益合計	36,386	28,119
営業外費用		
為替差損	—	1,501
営業外費用合計	—	1,501
経常利益	1,705,440	1,701,055
特別損失		
固定資産除却損	193	—
特別退職金	74,716	—
特別損失合計	74,909	—
税引前四半期純利益	1,630,530	1,701,055
法人税等	525,641	547,215
四半期純利益	1,104,889	1,153,839

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。